

# ICTを活用した働き方改革(調査結果)

## 【調査の趣旨・概要】

1. **国家公務員の働き方改革**を進めるためには、柔軟な働き方を可能とする**テレワークの推進**や、その前提となる**リモートアクセス環境(※)の整備**が重要。(※)業務上のメール、電子媒体等を、自宅や外出先で閲覧できる環境
2. 一部の省庁では、リモートアクセス環境を充実させ、国会対応業務を自宅でテレワークにより実施するなど、**ICTを活用した先進的な働き方**を実施。先進的な働き方を**各省に横展開**することで、**政府全体での業務効率化、働き方改革**につなげる。
3. 以上の観点から、**各省におけるICTを活用した働き方改革への取組状況**や、**先進事例の実施可能性**について調査。「働き方改革実行計画」も踏まえ、**2020年度までにリモートアクセス機能の全省での導入**等に向け、国家公務員の働き方改革を一層進める契機とする。

## 1. リモートアクセス環境の整備状況、活用状況

- (1) 調査対象である**22省庁**のうち、**8省庁**では、省内全ての職員が、**私用端末**(スマホ、PC等)又は**1人1台割り当てられた業務用PC**から**リモートアクセス環境**を利用して、**自宅で職場メール等を閲覧可能**。  
【金融庁、総務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省】
- (2) また、(1)の8省庁では、リモートアクセス環境を**国会対応業務**(自宅での答弁チェック等)に活用し、業務効率化につなげている。そのうち、**経済産業省**においては、**大臣を始めとする政務もリモートアクセス環境を国会対応業務に活用**している。
- (3) なお、(1)以外の14省庁のうち、**9省庁**では、政府目標の**2020年度までに私用端末又は1人1台割り当てられた業務用PCからのリモートアクセス環境を整備予定**。  
【内閣官房、内閣府、警察庁、個人情報保護委員会、消費者庁、復興庁、法務省、農林水産省、宮内庁】

## 2. 先進的なコミュニケーションツールの整備状況、活用状況

- (1) **7省庁**では、省内全ての職員が、**1人1台割り当てられた業務用PC**から**リアルタイムコミュニケーションツール**(Lync、メッセージャー等)を利用可能。【総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、防衛省、公正取引員会】
- (2) **4省庁**では、利用を希望する職員が、**私用端末**から業務上の連絡をするために**IP電話(無料通話)**を利用可能。  
【外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省】
- (3) **6省庁**では、**省内の審議会等**において、委員等の遠隔地からの参加を可能とする**Web会議システム**を利用している。  
【内閣府、金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省】

## 3. ペーパーレス審議会

**6省庁**では、**省内の審議会等**において、**完全ペーパーレス化**を実施【総務省、財務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省】そのうち、**経済産業省**においては、**全ての審議会等で実施を原則**としている。